



伝統産業を活用したデザインイノベーション

有松・鳴海絞を用いた脱着容易性と回復意欲に資する病衣デザイン

技術分野分類 1651：デザイン学

技術キーワード (3) 工業デザイン (プロダクトデザイン、ユニバーサルデザイン)

産業分類 E-11：繊維工業

内 容	概要	本研究は、「入院患者のための病衣を提案する」にあたり、中部地域の伝統工芸技法のひとつである「有松・鳴海絞」の技術を取り入れ、着脱容易な構造および見た目印象の向上により、患者の心身両面の負荷軽減をめざしている。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	本件の優位性は、本技術が伝統産業を基盤としている点にある。従来技術は和装生地の全加工が一般的であったが、本技術は、病衣着脱時に伸展性をもたせるため、熱可塑性を有するポリエスチル生地を病衣部位に用い、一部加工の応用を可能とした点が、従来技術と比しても優位な点である。また、製造工程を分業化することで多様な技法を専門化し、技術力と生産体制を確保している。
	本技術の有用性	本技術の有用性は、製造技法の基本となる加工方法（絞り技法）がすでに確立されているため、種々の絞りによりもたらされる効果および機能性の再考が容易にできる点にある。素材の最適化、用途の最適化、加工部位の最適化をデザインによって設計することで、従来技術の基本原理を改変することなく、完成度高く活用でき、また、伝統技法の継承にも資することが可能となる。
関連情報 (図・表・写真等)		 <p>有松・鳴海絞 (縫い筋目) 伸 (左) 縮 (右) 病衣への応用 (© 藤井研究室 2012)</p>
適用可能製品		① 入院患者のための病衣 ② 携帯性・可動性、収納性を考慮した種々の製品などに適宜応用可能。 (例: 災害時用仮設間仕切り・テントなど)
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	藤井 尚子 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科・准教授
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名古屋市立大学 社会連携センター (事務局学術課 産学官連携係) 052-853-8041 / 052-841-0261 ncu_renkei@sec.nagoya-cu.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無



提供可

作成日 2014年11月26日